



じー。

Shall we?

やったり、
見たり、
いたり、
ぬけたり。

それは、言葉も身体も違う私たちが、ただ同じ空間に「共にある」ことを遊んでみる合言葉。混ざって何かをやるのも、見ているだけでもただいるだけでも、そしてその場を離れることも自由な「共生」の実験。カフェで淹れる側になったり、飲む側になったり。目の見えないスポーツで身体のズレを面白

がったり、映画や祭りの記録をぼんやり眺めたり。ラジオでお喋りしたり、ワークショップに途中まで参加してみたり。「する人」と「してもらう人」の境界線もなく、それぞれのテンポで、そこに「居る」ことを楽しむ一日。大人も子どもも、ふらっと迷い込みに来てください。

2026年 **3月28日** (土) 10時から17時まで

入場無料/入退出自由

会場

上田市立美術館 (サントミュージゼ) 1F 多目的ルーム & 和室

プログラムに参加希望の方へ

※会場にはカームダウンスペースもございます


筆談ボード
あります


車椅子可


多目的トイレ
あり


プログラム
開催中の入退場可


声を
出してもOK


補助犬
OK


ゆずりあい
駐車場あり


手話通訳者が
います

共催：特定非営利活動法人リベルテ

協力：上田市立美術館

後援：長野県、上田市、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会、
上田市教育委員会、上田市社会福祉協議会

問い合わせ先：lxcnagano@gmail.com (佐々木・千々和)



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



Learn by Creation NAGANO

上田のみんな
— 上映会 —

上田にまつわる2本の映画を上映します。これに関連してのワークショップもあるので、映画をみる前でも見た後でもご自由に参加ください。



[2025年/日本/カラー/66分]
監督・撮影・編集：三好大輔
上映前に監督による挨拶、上映後は参加者の皆さんとの座談会がございます。

うえだのまなざし

①10時半～ ②15時～

地域で集められた8ミリフィルムに、クリエイターが講師となって効果音やアニメーション、音楽などを子どもたちと制作した「うえだのまなざし」を上映します。過去の記録が問いかける私たちの現在地。「家族」や「地域」のかたちはどう変わってきてどこへ行くのか。知らなかった上田の記憶が再生されていきます。



2026年/日本/30分/
撮影・編集：馮馳/
制作：NPO法人リベルテ

“みんな”の祭りのつくり方

12:30～15:00の間に繰り返し上映

生涯学習事業で実施した「みんなの祭り」のリサーチやワークショップ、お祭り当日のアーカイブ映像を編集したものを上映します。障害の有無、世代や立場を越えた体験の機会をつくる「祭りが生まれた背景とプロセス」を映像にまとめました。会場の展示と合わせてご覧ください。

関連ワークショップ

ロトスコープ教室 (講師：otamaさん)

①11時～13時 ②14時～16時 左記の時間内で随時参加可能

8ミリフィルムの映像を抜き出し、1カットずつトレースして(写して)、アニメーションをつくるロトスコープ教室も開催します。イラストレーターのotamaさんをお招きし、1秒10コマのアニメーションの作り方を教えていただきます。みんなの描いた絵をアニメーションで動かしてみます!



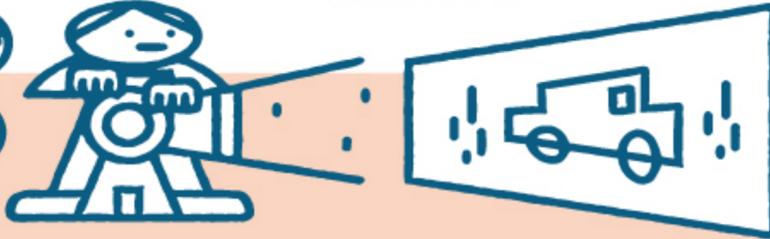
ミニ岳の幟をつくろう

随時参加可能

「みんなの祭り」でも制作した別所温泉で500年以上続く祭り「岳の幟」を参考にしたオリジナルのミニ幟(のぼり)を作ります。オリジナルの幟を作って、「みんな」で会場に飾っていきましょう(制作したものはお持ち帰りできます)。



ズレて、エラー
さわって



見えないからこそ感じられてくること、言葉ではないやり取りだからこそわかること、これまでにない身体感覚を体験できるゲームで遊みましょう。

目の見えない人にあるものを使って柔道の試合を伝える、アルファベットでフェンシング、投手の肩から感じる感覚でボールを捉える感覚の野球など、スポーツが得意な人も苦手な人も楽しめる「見えないスポーツ」を一緒に楽しみましょう(監修：伊藤亜紗、渡邊淳司)。



見えない
スポーツ図鑑
随時体験可能



ユビボー
随時体験可能



「YUBIBO (ユビボー)」はカードの指示に合わせて、指同士を棒でつないでいく協力型ゲーム!ミッションは、与えられた棒を落とさないようにみんなで支えること。お互いの指の動きや、指の力を感じながら、棒を支えてクリアを目指そう!

カフェ はたらく、休む、気にしない。

イベントスペースの中にカフェをオープンします。市内の喫茶店「美遊カフェ」で焙煎している豆と「NPO法人ボラリス」の手焙煎の豆が提供されます。上田市内の福祉事業所に所属するサポーターとこのカフェ空間の運営を一緒に楽しみませんか?もちろん、休憩いただいてもOK。お客さんとして、店員さんとして、居心地のいいお店と一緒に作ってくれる方を募集します。当日はコースターにアンケートをつけてみたり、いろんな仕掛けを考えています。



混ぜていたり

いなかったり 展

手作りの祭りから、自由な読書の形、全国のごちゃ混ぜな学びまで。ここには、混ぜたり、離れたりしながら地域で生きるヒントが集まっています。展示を見て、触れて、仕掛け人たちと話してみる。あなたの「当たり前」を解きほぐすきっかけが、きっと見つかります。

みんな

でつくれた祭りや未来

NPO法人リベルテ

お祭りは踊ったり見たりする人だけでなく、準備や通りかかった人「みんな」が参加者。そんなコンセプトで昨年11月に私たちがつくったお祭りは、手作りの岳の幟(のぼり)を持って海野町商店街を練り歩き「山の神様 シシタロウと川の神様シジロウ」を仲直りさせるというものでした。今年はどうなお祭りをつくろう?この展示を見ながら一緒に話しましょう。

地域で共に
〇〇する
ということ

社会教育の
いろいろな形

国立市公民館、那覇市繁多川公民館、
上田市教育委員会生涯学習・文化財課、
Happy Universal College、
信州アーツカウンスル、
長野県西駒郷アトリエ「風と太陽」

読むって
もっと自由でいい

県立長野図書館

最近はオーディオブックを利用する人も増えてきましたが、実は他にもたくさんの「読む」をひろげてくれるツールや本があります。いろんな人の、いろんな読み方を知ること、あなたの読書体験がもっとひろがるはず。アクセシブルな本や「読む」をサポートする様々なツールを触ることができます。

障害の有無・年齢・国籍等にかかわらず、地域で共に学んだり、遊んだり、表現したりする、楽しくて面白い全国の実践を紹介しします。それらの仕掛け人と展示を見ながらあなたの地域でもっと楽しいことができないか、一緒に考えてみませんか。

誰でもゲストでパーソナリティの「余白ラジオ」



会場の真ん中から、ゆるやかに放送中。お目当ての番組をじっくり聴きに來るもよし、通りがかりにふらっと耳を傾けるもよし。フリータイムには、その場限りの即興番組が生まれるかも。気が向いたら、マイクの前で一緒に少しお喋りしていきませんか?おたよりもお待ちしています。しゃべるのはちょっと……という方も大歓迎。

10:00~12:00

文部科学省 共生社会コンファレンス
多様性×社会教育
~ごちゃ混ぜの場の作り方~

障害の有無・年齢・国籍等にかかわらず、「地域においてごちゃ混ぜに学ぶこと」を実践している人々が、ごちゃ混ぜの場の面白さについて、エピソードをふんだんに交えながら語り合います。

パーソナリティ

Happy Universal College
(株式会社Happy)

上田市教育委員会生涯学習・
文化財課 青少年指導員
小林成子

那覇市繁多川公民館館長・
NPO法人1万人井戸端会議代表理事
南信乃介

国立市公民館 館長補佐・文部科学省
障害者の生涯学習推進アドバイザー
井口啓太郎

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官 志々田まなみ

13:00~14:00

**みること・きくこと・
あそぶこと**

うえだ子どもシネマクラブのこどもたちと「うえだのまなざし」の音声ガイドをつけた取り組みについて。みたこときいたことのない前代未聞の音声ガイドが出来上がった!その裏話をお届けします。

パーソナリティ

映画監督 うえだ子どもシネマクラブ
三好大輔 直井恵

14:00~15:30

文部科学省 共生社会コンファレンス
**障害者の文化
芸術活動×社会教育**
~地域社会との関わり方~

長野県内にある多様な文化芸術活動の実践者の話を通じて、文化芸術の持つ力や社会教育の意義を掘り下げながら、アートと地域社会の関わりについて語り合います。

パーソナリティ

文部科学省障害者の
生涯学習推進アドバイザー・
長野県社会福祉協議会
福澤信輔

信州アーツカウンスル
ゼネラルコーディネーター
野村政之

長野県西駒郷
支援員
小川泰生

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
企画課自立支援振興室 障害者文化芸術計画推進官
森真理子

長野県立美術館アート・
コミュニケーター第1期生
大井光世



A. 多様性×社会教育

B. みること・きくこと・
あそぶこと

C. 障害者の文化芸術活動×社会教育

余白ラジオ



ShallWe?